

答弁 町長は、法に交信かく乱

口モンチューブを圃場内に設置し、メスの匂いを充満させて繁殖を妨げ、メイチュウの密度を低下させる技術

瀨利覚字池田地区防潮林植栽被害の状況。町長：樹木の状況を見ながら復旧植栽を進めて行く。



西田治利 議員

質問 本町の景観行政団体について。

答弁 町長は、景観資源の掘掘と課題整理、景観形成地区の検討、景観形成の基本方針の検討、行為の制限に関する事項の検討、景観計画の策定等の項目について、およそ5カ年を有することになります。このような様々な諸課題等をクリアし、初めて事務処理ができることから慎重に検討してまいりたいと思っております。

である。各島市町村単位で5ha程の規模で実証試験が計画されている。十月上旬に設置し、地区内と地区外で誘殺数を調査し、効果を検証する予定である。

質問 本町の学童保育と保育ママ制度について。

答弁 町長は、10歳未満の児童を、共働き家庭や一人親家庭などの児童の放課後と学校休業日の生活を保障し、親の働く権利と家族の生活を守る役割を担っています。保育ママ制度は、仕事や病気で子供の面倒を見られない親にかわって、3歳未満の待機乳幼児を、所定の研修を受けた保育士らが自宅などで預かる制度であり、保育ママが一人で預かることのできる子どもの数は最大3人で、補助者2人をつけていると最大5人までとなっています。本町の保育施設は町営の保育所、法人が運営する保育園が1箇所、民営施設が1箇所あり、本町における保育環境はある程度整っているものと思われ

ます。これからも保育と教育の充実と合わせて子育て、家族支援の充実を図り、未来を担う子ども達の環境整備を図ってまいります。

質問 瀨利覚字池田地区防潮林植栽被害について。

答弁 町長は、8月の台風15号と今回の台風16号の暴風雨や高波により植栽したモクマオヤアダン・フクギ等に壊滅的な打撃を受け枯死しております。また、植栽した樹木を保全するための木廉防風施設も被害を受け散乱しております。台風15号の後、大島支庁林務水産課の担当者も来町し現場の確認をしており、「県では植栽した樹木の状況を見ながら復旧植栽を進めて行いたい」との事です。



倒木した防潮林

台風被害の支援はどうか。町長：関係機関と連携を図る。



今井吉男 議員

質問 台風襲来による農作物やハウス等の被害状況と農家への支援策は図れないか。

答弁 町長は、サトウキビは全域で茎や葉の裂傷、折損被害が発生、収穫前のソリダゴや飼料作物も倒伏被害が発生しています。

質問 基幹作物であるサトウキビの病害虫防除対策はどう図るのか。

答弁 町長は、先の一斉防除の効果の高い期間内に一斉防除を実施する。

質問 葉タバコの被害状況と生産意欲を高める方策は。

答弁 町長は、台風や降雨により疫病が激発し、大幅な減収となった。今後、生産意欲を高める為に耕作者の改善方策が決定後に最善のバックアップをする。

質問 生活が成り立ち、若者が農業に魅力が持てる将来へ向けた農業政策をいかに図るのか。

答弁 町長は、農業インフラの整備を着実に進め、魅力ある農業を構築し、さらに活力ある知名町を実現したいと思う。

質問 老朽化して危険な集落公民館や公共施設について先月の三月議会で「公共施設再整備委員会」を立ち上げて整備すると答弁されたが、その後の進捗状況は。

答弁 町長は、年内に「公共施設再整備検討委員会」第二回プロジェクト会議を開催し、総合的な見地から調査、検討していく。